



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

学校便り Respect



令和4年5月6日

No. 2

令和4年度 5月朝礼あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

5月に入り、学校が始まって間もなく1か月がたちます。4月末には委員会活動もスタートし、授業以外の面でも学校が本格的に動き始めました。エントランスのこいのぼりも、文化委員の皆さんが取り付けてくれたものです。

新型コロナウイルスに関してですが、5月1日よりマレーシア国内の規制が1部ゆるくなりました。しかし、交通機関や室内でのマスク着用はそのままですので今まで通りしっかりと守ってください。また、感染予防のためのうがい・手洗い・消毒も今まで通りおこなってください。コロナにかかった場合の7日間の隔離も今まで通りです。朝、調子が悪い場合には、登校せずに検査をしてください。



さて、本年度は、学校として本格的にSDGsに取り組む1年となります。小学部や中学部、またクラスで何に取り組むかは、それぞれの担当の先生からお話があるのでしっかりとそのお話を聞いて、それぞれの活動に取り組んでください。私からは、学校全体で取り組む『節電プロジェクト』に関してお話をします。

さてみなさん、“節電”とは何のことでしょうか？“節電”とは、電気を節約することです。では、学校では、何に電気を使っていますか。（質問）皆さんが答えてくれたように学校では、様々な目的で電気を使っていますが、皆さんの教室で主に使う電気は、蛍光灯とエアコンではないでしょうか。その中でも、エアコンは電気使用量の半分近くをしめています。30分くらいだとつけっぱなしの方が、1度スイッチを切ってつけるより節電になる場合もあるようですが、皆さんの授業は1コマが45分～50分なので、教室移動の時は、消した方が節電になります。したがって必要のない場合は、教室の蛍光灯やエアコンのスイッチは切り、節電を心がけましょう。節電することにより、無駄な電気を使わなくてよくなります。マレーシアや日本では電気は、ほとんど石炭や天然ガスなどの地下資源からつくられています。節電によりこれらの資源を節約できるし、それらの資源を燃やすことによって発生する地球温暖化の原因といわれているCO2を減らすことができるのです。また、この『節電プロジェクト』は、単に節電するだけではなく、節電で使わなくてよくなったお金を、いま世界で困っている人々に募金の形で寄付したいと思います。地球環境を良くするだけでなく、困っている人々を助けることにもなります。節電することが、みなさんが『自分も周りも良くできる人』になることにつながります。詳しい目的や方法は、このあとESRの人たちが説明してくれるので、よく聞いて協力してください。

◎ 保護者の皆様へ

朝礼の話でも触れましたが、5月1日よりマレーシア国内の新型コロナウイルスに関する規制が緩和されました。教育省に確認したところ、学校関連では、学校行事等への保護者の皆様、外部の方々の来校は認められるとの回答を得ました。今回の授業参観は、すでにオンライン実施とのご連絡を差し上げておりますので、それ以降の学校行事等に関しまして、学校で実施の方向で進めさせていただきます。校内でのマスク着用や消毒等は継続いたしますので、ご協力をお願いいたします。校外学習に関しましては、不可との回答でした。今後、実施が認められましたらお知らせいたします。